

第 28 回 S B C 杯長野県高等学校新人放送コンテスト

(兼 第 9 回長野県高文連放送専門部県フェスティバル)

開催要項

- 主催：長野県高等学校文化連盟放送専門部（兼主管）
共催：S B C 信越放送、長野県高等学校視聴覚教育研究会
- 後援：長野県教育委員会、長野市教育委員会
- 主旨：放送活動を通じて高校生の豊かな人間性と美しく豊かな日本語を大切に
にする心情を育成すると共に、校内放送活動の健全な育成と推進をはかる。
- 部門：○ビデオメッセージ（VM）部門 ○オーディオ・ピクチャー（AP）部門
○テレビ番組フリー（TF）部門 ○ワンミニッツ部門 ○アナウンス部門 ○朗読部門
- 会場：長野市勤労者女性会館しなのき

〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町 1481-1 (026) 237-8300 (代)

長野電鉄線「権堂駅」下車 徒歩2分（長野市役所より600m 徒歩6分）

※会場には駐車場がありません。公共交通機関の利用を強く勧めますが、自動車利用の場合は、長野市役所へ駐車し徒歩で会場へ向かうか、周辺の民間駐車場（有料）をご利用ください。

- 日時：平成21年 12月19日（土） 番組部門
(ビデオメッセージ、オーディオ・ピクチャー、ビデオフリー、ワンミニッツ)
受付 10:00～10:30 2F ホワイエ
12月20日（日） アナウンス、朗読部門
受付 9:20～9:30 2F ホワイエ

7. 内容

(1) アナウンス部門（1校6名まで）

- 長野県内の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を發表してください。
- 發表は、番号、学校名、氏名に続いて原稿を読むものとします。
- JPEG形式のデジタル静止画像（5枚以内）を使用することができます。**
投影は台本にしたがって、主催者が行います。
- 原稿のタイトルは読まないでください。發表時間は、番号、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。

(2) 朗読部門（1校5名まで）

- 長野県ゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。
- 發表は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名に続いて読むものとします。
- 發表時間は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて2分以内とします。
- BGM、静止画等は使用することはできません。

(3) オーディオピクチャー（AP）部門（1校1作品）

- 長野県内の話題を全国の高校生に伝える作品とします。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など、手法は自由です。静止画と音声の特性を生かした作品を求めます。
- MDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像（50枚以内）を併用する作品とします。
- 發表時間は5分以内とします。
- 画像の投影は發表校が行ってください。

(4) ビデオメッセージ（VM）部門（1校2作品まで）

- 長野県に関する話題を取り上げた、自校オリジナルのビデオ作品とします。内容、手法は自由です。
- 發表時間は5分以内とします。

(5) テレビ番組フリー（TF）部門（1校あたりの作品本数の制限はありません）

- 題材・内容とも自由なオリジナルの映像作品を求めます。
- 發表時間は20分以内の作品とします。

(6) ワンミニッツ部門（1校あたりの作品本数の制限はありません。個人参加もできます。）

- 題材・内容とも自由なオリジナルの映像作品を求めます。
- 發表時間は1分とします。

8. 規格

(1) デジタル静止画像（アナウンス部門、AP部門）

ア 画像形式の指定について

- ビデオプロジェクターにより、パソコンからJPEG形式のデジタル静止画像を投影するものとします。

解像度は1600×1200以下とし、1024×768以下のものは、縮小投影となります。

イ 画像の内容について

- ・他の著作物を使用する場合は各校で作者の承諾を得てください。
- ・コラージュ・テロップ挿入等の表現手法については制限をしません、著作物の改変にあたる場合は、権利者の許諾を得てください。

ウ 映写の方法、操作について

- ・ビデオプロジェクターを1台使用できます。
- ・デジタル静止画像のデータは、AP部門はCD-Rにより提出。アナウンス部門は事前にメールで提出し、データを主催者が用意したパソコンのハードディスクにあらかじめ転送しておきます。

AP部門においては、画面を順次切り替える操作は発表校が行ってください。

エ ファイル名の指定について

- ・他校とのデータの間違いや、投影順の混乱を防ぐため画像ファイル名は以下のようにつけてください。

① オーディオピクチャー部門 (学校名+部門名+投影順を示す二桁の番号)

例：信州高校の場合

1枚目：shinsyu-ap01.jpg 2枚目：shinsyu-ap02.jpg ……以降同様

② アナウンス部門 (学校名+氏名イニシャル+投影順を示す二桁の番号)

例：信州高校の山田花子の場合

1枚目：shinsyu-yh-01.jpg 2枚目：shinsyu-yh-02.jpg 3枚目：shinsyu-yh-03.jpg ……以降同様

(2) 音声再生 (AP部門)

ア MD (標準モードで録音してください。LP・Hi-MDモードは不可) に1作品分を再生順に録音したものとします。(MD上で複雑に編集したものは再生トラブルの原因になるので、1トラックにまとめておいてください。)

イ 再生エラーに備えてカセットに同内容のものを録音したのも用意してください。

ウ 再生と音量調節は、発表校で行ってください。

(3) ビデオ (ビデオメッセージ部門・テレビフリー部門・ワンミニッツ部門)

ア miniDV (DV規格は民生用、業務用は不可) のテープに録画したものとします。

イ テープスピードは、「SPモード」とします。「長時間LPモード」は使用しないでください。

ウ 音声トラックは、miniDV方式では「12bit stereo 1」「16bit stereo」のいずれか一つのステレオ再生とし、音声のミックス再生など、特別な再生方法は行いません。

エ 作品本編の前後に20秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画してください。

オ 作品の再生は主催者が行います。

カ ワンミニッツ部門 (事前提出) については、動画ファイル形式でのメール等での提出も認めます。

(4) 共通事項

ア 著作権、肖像権等の処理等については、参加団体で責任を持って行って下さい。

今年度より、JASRACへの使用手続きの取り次ぎは廃止します。

詳しくは、別紙「著作物の取り扱いについて」をごらんください。

これらの問題について、トラブル等が生じて、主催者は一切責任を持ちません。

- ・音楽著作物の使用について、権利者の許諾を必ず得て下さい。

- ・写真、ビデオ等の著作物については、必ず権利者の許諾を得て下さい。

これらの点に問題があり、作品が上部大会等で公開できないと判断される場合、賞の取り消し。全国大会への推薦の取り消しを行うことがあります。

イ 番組の台本はNHK杯の要項規定に準じたものを作成 (AP部門は、テレビ番組部門に準ずる) し、所定の部数を当日受付へ提出してください。ワンミニッツ部門は、台本の提出は不要です。

(<http://hcon.dip.jp/> にも今年度NHK杯の要項を参考においておきます。)

アナウンスの台本 (jpeg画像を含む) ・朗読の台本は、電子メールの本文に貼り付けて、電子メールで提出してください。(参加者1名につき、1メールでお願いします。様式は後のページを参考にしてください。) 従来の紙ベースの台本は受け付けません。12月13日 (土) までに、送信してください。

ウ 各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。

9. 参加申込について

締切を平成21年12月9日(水)正午とします。

【申し込み方法】

- ① 下記ホームページにて参加登録してください。なお、インターネットにアクセスできない場合は F a x でも受け付けますが、極力ホームページから申し込んで下さい。
(注意) 同一校が、同一部門に複数参加する場合、上記申込ホームページの記入順が、コンテストにおける同一校内の発表順になりますので、記入の際はご注意ください。
- ② 確認のメールを指定のアドレスへ事務局より返送します。
12月10日(木)12時までに受付確認のメール(またはFAX)で返送するので、確認の上、間違い等がある場合、事務局まで大至急連絡をお願いします。(プログラム、賞状等の原稿になります。)
ワンミニッツ部門のみ、12月10日(木)必着で、下記事務局へ作品を送付してください。
(この時点までに事務局に作品が到着したもののみ、当コンテストの審査対象とし、応募多数の場合は、事前に非公開審査を行います。)
- ③ 当日までに、郵便局で、参加料を振り込んでください。
- ④ 正式の参加申し込み書(学校長印のあるもの)を、当日参加受付まで提出ください。

第28回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト事務局

参加受付等の大会HPアドレス <http://hcon.dip.jp/>

上田高等学校 宮崎潤 気付

電話 050-5806-3169 (直通) Fax 026-217-0081 email hcon@jnet.dip.jp

10. 提出物 参加部門により以下のものを当日受付へ提出してください

① 参加申込書(校長印捺印の物) ※裏面に下記③を貼り付けてください。

② 番組の台本2部、作品テープ等

アナウンス・朗読の台本は、12/13(土)までに電子メールで提出

ワンミニッツ部門の作品は、12/10(木)(必着)で事務局へ提出

③ 参加費の郵便局への振込受領書の写し

※コンテストについて不明な点は、勝手に判断せず、上記事務局までお問い合わせ下さい。

11. 参加資格：長野県内の高校に在籍する卒業学年以外の生徒に限ります。

※統廃合が決定した学校どおしは、合同(チーム)参加することができます。この場合、同じ部門への統合前の学校での参加はできません。(全国への推薦は1チームを1校とみなします)

12. 参加料：朗読・アナウンス部門、テレビフリーは1人(作品)につき1,000円。

ビデオメッセージ、オーディオピクチャー、テレビフリー部門は1作品1,500円。

ワンミニッツ部門は1作品100円

① 受付当日までに郵便局でお支払い下さい。(ワンミニッツ部門の個人参加は、当日受付で支払いも可)

② 振込先は

口座番号 00580-2-94101

加入者名 長野県高校放送コンテスト事務局

※通常払い込み料金加入者負担(受取人振込料金負担)で振り込んでいただいても結構です。

③ 振込まれた参加料等は、棄権等の場合もお返しできません。

13. 表彰：審査員は信越放送の専門職員と長野県高等学校文化連盟放送専門部加盟校の顧問が当たり、また表彰については各部門とも、絶対評価により、下記の通り行います。

SBC賞 1本、優秀賞、優良賞、奨励賞(絶対評価により授与します)

14. 上部大会への推薦について

(1) 全国高等学校総合文化祭への推薦について

平成22年度第34回大会・宮崎県清武市で平成22年8月4日(水)～5日(木)に行われるこの大会へ、以下の本数を推薦します。

(1) アナウンス部門・朗読部門 各3名

(2) オーディオピクチャー部門 1作品

(3) ビデオメッセージ部門 2作品

※ ただし、(ビデオメッセージ部門、オーディオピクチャー部門)及び(アナウンス部門、朗読部門)内の同一校複数の推薦はしません。

(2) 北信越選抜放送大会(北信越地区高等学校文化連盟主催)への推薦について

平成21年度第6回大会は、平成22年2月に富山県で行われ、以下の本数を推薦します。

- (1) アナウンス部門・朗読部門 各6名
- (2) オーディオピクチャー部門 2作品
- (3) ビデオメッセージ部門 4作品

※ この大会への同一高校の推薦は、各部門1つとします。また、棄権、失格等が生じた場合は、後日繰り上げて推薦する場合があります。

15. 個人情報の取扱いについて

この大会に参加するためにご提供いただいた氏名等の個人情報は、大会運営のため以外には使用しませんが、大会運営、結果の公表のために、氏名、肖像などを、プログラム冊子、ホームページに公表することがあります。また、優秀な発表をホームページ等で公表する場合があります。

また、共催者であるSBC信越放送も、同様の目的で放送、ホームページにおいて公表することがあります。

大会参加の申し込みをもって、この件についてはご承諾をいただいたものと取り扱わせていただきますので、個々の参加者にこの件についてのご承諾をいただくことはしません。不都合がある場合は事務局までお問い合わせください。

【参考】アナウンス・朗読の原稿の原稿様式について

・下記の例にしたがって、添付ファイルではなく、メールの本文に下記様式の原稿を書いて12月13日(土)までに送信してください。従来の紙を綴じた原稿(台本)は受け付けません。

- ・件名には「〇〇高校 朗読部門 (氏名)」のように、はっきりと記入してください。
- ・送信先は、hcon@jnet.dip.jpです

《アナウンス部門》 本文中、写真を投影するタイミングを明示してください。
写真は添付ファイルとして送信してください。

アナウンス部門	(1行目は参加部門)
上田北高校 長野太郎	(2行目は学校名 参加者の氏名)
別所温泉について	(3行目は作品タイトル 4行目から本文)

(写真1) 信州の鎌倉と言われる別所温泉は、上田の塩田平にあり、全国的に見ても古い歴史をもつ温泉地の一つです。

その昔、ヤマトタケルノミコトが東国征伐のとき、ここに温泉を開き、苦しみを除く七つの湯ということで、七久里の湯と名付けたといわれています。

(写真2) 清少納言の枕草子の中に、「湯は七久里の湯、有馬の湯、玉造の湯」という一節があります。この七久里の湯は、別所温泉であるともいわれています。また、平安末期の武将、木曾義仲も、この温泉の大湯に入浴し、傷を癒した言われています。(写真3)そして石湯は、真田太平記の中で、真田幸村の隠し湯としても登場しました。

今でも、共同浴場として、この二つの湯は、親しまれています。

(写真4) 硫黄の香りが漂うこの温泉には、いろいろな効能もあります。みなさんも一度は、歴史の漂う別所温泉を訪ねてみてください

《朗読部門》

朗読部門	(1行目は参加部門)
長野北高等学校 木谷 有沙	(2行目は学校名 参加者の氏名)
中河与一「天の夕顔」	(3行目は作者名・作品名)
(4行目以下本文)	

第28回 SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト参加申込書

	高等学校		学校長
			印
顧問 (email)	印 ()	学校電話 学校FAX	

ア	ふりがな	学年	性別	内 容	写真の 有 無
	氏 名				
ナ					
ウ					
ン					
ス					
朗	ふりがな	学年	性別	作品名	
	氏 名			作者名	
読					

部門	タ イ ト ル	分 秒	音
ビデオメッセージ			
ビデオメッセージ			
テレビ番組フリー ワンニッツ			
テレビ番組フリー ワンニッツ			
テレビ番組フリー ワンニッツ			

携帯・ビデオは、該当を○で囲んでください

部門	タ イ ト ル	分 秒	コマ数
オーディオビデオ			

【 参加費 】 合計 () 円
 アナウンス・朗読、テレビフリー (携帯) 1,000円 × 人 (作品) = 円
 番組部門 (ワンニッツ部門を除く) 1,500円 × 作品 = 円
 ワンニッツ部門 100円 × 作品 = 円

著作物の取り扱いについて

1 音楽著作権の取り扱いについて

校内放送研究・第56回NHK杯全国高校放送コンテスト要項号（本大会ホームページ <http://hcon.dip.jp/ncon/2009/youkou/>）にもあります。）の手順に準じて、使用した音楽の著作権処理を確実にお願いします。

今年度より、NHK杯と同様にJASRACの管理曲の一括取り扱いは廃止させていただきます。だからと言って著作権手続きが不要になった訳ではなく、レコード会社等への隣接権の許諾処理が必要です。JASRACの管理曲を使用した場合は、JASRACへの手続きとともに、提出していただく台本にJASRACから付与された許諾番号を記入する欄がありますので、必ず記入してください。JASRACの管理外のものを使用した場合は、手続きが済んだことを示すものを台本末尾へ添付していただくことになります。

2 写真・動画・文章など、その他の著作物について

- ① 著作者の許諾をできるだけ得るようにしてください。
- ② 新聞、雑誌、テレビ放送等、商業利用されている著作物については、特に許諾を得てください。許諾を得た場合については、そのことを示すものを台本に添付してください。

3 全般

- ① 主催者として、使用した著作物、肖像権などに関し、トラブルが発生しても、一切その責任を負うことはできません。各団体において、責任もってその処理にあたってください。
- ② 上部大会の申込みまでに著作権等の処理が完了しない場合は、入賞ならびに上部大会への推薦の取り消しを行う場合があります。
- ③ 引用に当たる場合も含め、使用した著作物は、様式2-6に記入し、台本に添付してください。